

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

41号
2022
夏

小学1・2年に
おすすめ

創作

『せんたくかあちゃん』

さとうわきこ//さく・え 福音館書店(約7分)



洗濯の大好きなかあちゃんが、ある日、家中の服やシーツを洗ってしまうと、猫や犬や子どもたちまで洗って干してしまいます。そこに雷さまがおへそをとろうと落ちてきますが、かあちゃんにつかまって、洗濯されてしまいます。元気のいい「せんたくかあちゃん」が魅力的。幅広い子どもが読み聞かせを楽しめる頼りになる定番絵本。



小学3・4年に
おすすめ

創作

『ハンダのびっくりプレゼント』

アイリーン・ブラウン//作 福本友美子//訳
光村教育図書(約4分)

読み聞かせプログラムに取り入れたい
詩の本・うたの絵本

『おならうた』

谷川俊太郎//原詩 飯野和好//絵
絵本館



谷川俊太郎のわらべうたをもとにした絵本。リズムカルな言葉はもちろん、おならがでる様子のそれぞれの絵も楽しい一冊です。

ハンダは、友達のアケヨに7種類の美味しそうな果物を届けようと、頭の上ののせて歩き出します。途中、サルがバナナを、ダチョウがグアバをと、次々動物たちが果物をとっていきますが、ハンダは気づきません。動物たちの行動は、文章はなく絵だけで語られているので、絵を読む楽しさが味わえる一冊です。読み聞かせでは、絵を丁寧に見せましょう。

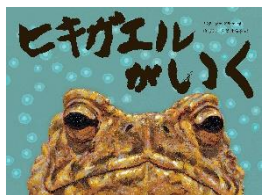


小学5・6年に
おすすめ

創作

『ヒキガエルがいく』

パクジョンチェ//作 申明浩//訳 岩波書店(約3分)



産卵のための旅をするヒキガエルの姿を、迫力のある美しい絵と太鼓の音だけで描いた韓国絵本。ヒキガエルが一匹、一匹と山からおりて集まり、やがて群れになります。野原を突っ切って、金網をよじのぼり、道路を横切りと障害を乗り越えながら愚直に歩み続けるヒキガエル。太鼓の音の翻訳は韓国と日本の二人の訳者で担当しています。読み聞かせにチャレンジしてみたい意欲作です。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などをお伺いしています。



[発行]

福井県立図書館子ども読書推進室
(2022.8 発行)

〒918-8113 福井市下馬町51-11
TEL. 0776-33-8860